

福井県DMOサミット

観光プレイヤーの取り組み事例紹介

ふくいの「余白」で ひとが活きる

合同会社FUJIONE 後藤



後藤 美佳

合同会社FUJIONE 代表

ふくいテレワーク女子 代表

北海道出身。10歳の頃、福井県に移住。

22年間敦賀の民間企業で一通りの事務経験を経て、任意団体として2020年7月にふくいテレワーク女子を立ち上げる。

個人では国家資格キャリアコンサルタントを持ち、フルリモート人材として自治体DX事業の人材育成支援をスタートさせ、研修設計、講師、ファシリテーターをおこなう。

2021年6月に民間企業を退社し、8月より地域経済の循環を目的とした合同会社FUJIONEを設立し代表を務める。

自治体DX人材育成講師

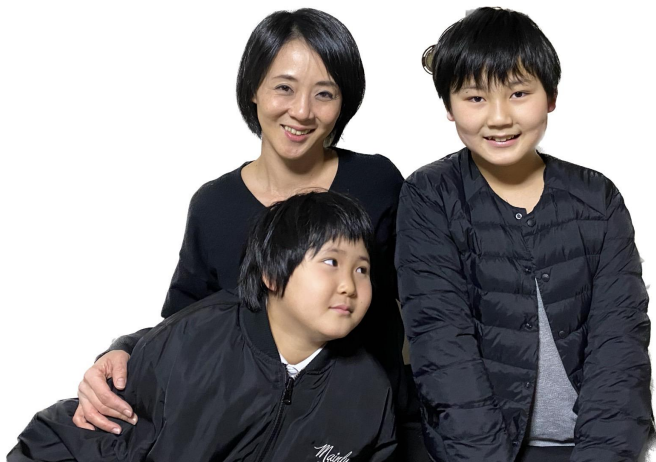


【研修講師】

- ・DXマインドセット
- ・サービスデザイン思考
- ・官民共創
- ・業務効率化

【ファシリテーター】

- ・ワークショップ
 - └ BPR
 - └ 施策提案



ローカルの価値を最大化し
子供の可能性を伸ばすために

「ひとが活躍するまちづくり」

をビジョンに掲げて
お仕事しております

いままでおこなってきたこと

1. 空き店舗を利用して新しい観光資源に
2. 新しい場所で自立自走のプレイヤー育成
3. 地域への愛着で地域活性化
4. 観光資源を発信できる担い手育成
5. 県外の専門家×地域住民との交流

1. 空き店舗を利用して新しい観光資源に

2019.10.11~13

敦賀 R ハッカソン

【敦賀 R ハッカソン】

空き店舗や建物を題材に、

チームでリノベーション活用案を検討し

最終日にプレゼンテーションを行う

3日間のワークショップ



**母親の店舗改修を頼もうとした
工務店のおにいさんがハッカソンの講師で誘われ参加**

カグ〜ル
ASOBERU KOUEN



RF CHILL SPACE

5F COWORKING

4F → HOSTEL

3F RENTAL SPACE

2F MUSIC & CAFE BAR

1F ASOBERU KOUEN



⇐かくだ
活用案

自分が最終日のプレゼンターを努め、
チーム全員で大号泣した。



かけがえのない仲間が生まれた。

新しい場所が生まれた。



港都つるがの手によって作られた余白によって

ただの主婦であり、

会社員だった私が「まちづくり」に興味を持った。

子育ての環境作りとして

敦賀のまちづくりを考えるようになり、

「まちづくり」の文脈で

お声がかかるようになりました。

2. 新しい場所で自立自走のプレイヤー育成

2019.11.25~
敦賀みらい会議(丸善雄松堂さん)

敦賀駅前の知育啓発施設「ちえなみき」

(当時は名前はなかった)

を中心に、敦賀市民が集い、対話し

まちづくり活動につながるコミュニティ



駅前の知育啓発施設「ちえなみき」のコミュニティ「敦賀みらい会議」
最初はごとう一人から始まった敦賀のプレイヤー集め オンラインで少しずつ増えていきました。



リアルでも集まり
数々のプレイヤーが
やりたいことや
問いについて
「みらい会議」で
対話をする中で
クリアになりました

今も、
丸善雄松堂さんの
おかげで、
「ちえなみき」で
地域の方々の声が
反映されています

新しい企業と地域の方々をつなぎ

市民がまちづくりに参画できる「余白」

=新しいプレイヤーが育つ環境

3. 地域への愛着で地域活性化

つるがをつなげる30人
ゼロイチフューチャーズ

【つるがをつなげる30人】

渋谷から始まった

行政と民間が連携して行う

地元プレイヤー育成事業



東 陽介

なんじゃもんじゃ☆るか

高畑 絢史

西島 由佳里

中野 博

下野 弘美

森本 美雪

森島 康雄

中村 幸恵

後藤 美佳

年齢、バックグラウンドも全て違うプレイヤーが地域資源を活かして自作のイベント「おてlabo」の企画・運営をおこなった。

2022.11.27
おてlabo vol.1

【おてlabo】

敦賀の地域に根付くお寺（本勝寺）にて、

お寺の文化を啓蒙

食育の観点でヴィーガンカレー

体験型ワークショップ



説法 写経

境内のお掃除





アクセサリ作り



カレー作り

ロス野菜を使用した
「つるがヴィーガンカレー」





親子の思い出をお寺で

やる気のあるプレイヤーと民間をつなげ

地域資源の認知度の余白を使い

新しいプレイヤーがトライできるフィールド

4. 観光資源を発信できる担い手育成

2020.7～
ふくいテレワーク女子

課題①

広告戦略不足
(Webマーケティング)



課題②

女性のチカラ発揮不足
(時間の自由度が高く活躍できる土壌)

同時に解決！！

Webマーケティングができる
女性テレワーカーを輩出し、
福井のPRで地域力をつける

ふくい
テレワーク女子

福井県ワクワクチャレンジプランコンテストにて女性部門で採択

福井丸岡RUCK様

ポスター企画・制作

選手へのインタビューを踏まえて「女性の両立」をテーマに設定。私生活もフットサルも全力で挑む選手の姿を表現しました。



株式会社ソリッドラボ様

パンフレット企画・制作

インタビューからパンフレット案作成、デザイン制作、イラスト制作までを行いました。障がいのあるなし、子どもからお年寄りまで多様な地域の人が集まる空間に合わせて、誰もが見やすいユニバーサルデザインを意識しました。



トンカンテラスのクラファンも達成！
より地域密着型のコミュニケーションができるようバリアフリートイレができました。

私設図書館つぐみ様

Webサイト制作・クラウドファンディング支援・パンフレット/ポスター制作・SNS運用・運営サポート

鯖江市に新たに私設図書館をオープンするため、オープンの半年前からプロジェクトへ参画し、運営サポートからWebサイト制作まで幅広く携わらせていただきました。
クラウドファンディングは目標金額150万円の約2.5倍の360万円が集まるという偉業を達成しました。





SNS、LPによる第1期生募集時に24名の応募。面談を行い9名採用としました。

5ヶ月間250時間のe-Learningを受講し、その後はプロジェクト・単発の案件などを受託しています。

【私生活面では】

- ・視野が広がった
 - ・家族が理解を示してくれるようになった
-

【ビジネス面では】

- ・新しい仕事をチャレンジするモチベーションがアップ
 - ・チームワークが学べた
 - ・ビジネスマインドが生まれてきた
-

福井に愛着のある、意欲ある人材の活躍

5. 県外の専門家×地域住民との交流

合同会社FUJIONE(フジオネ)

敦賀Rハッカソンの

1期生3名＋2期生1名＋1名

計5人で興した

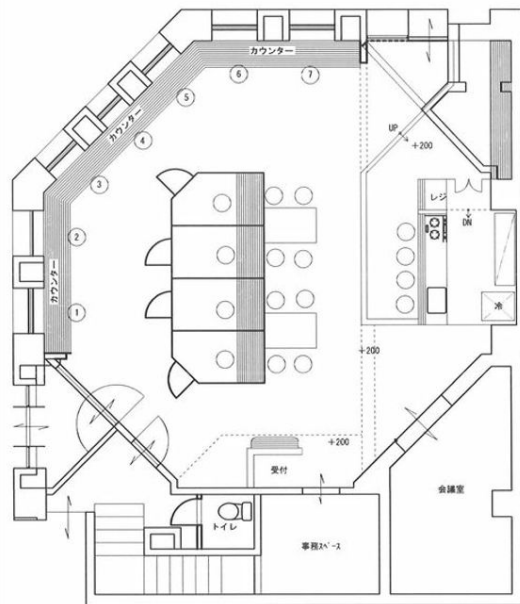
まちづくり会社



FUJIONE WORKATION PLACE

1F コワーキングスペース

シェアスペース・会議室・個室・FUJIONEカフェ



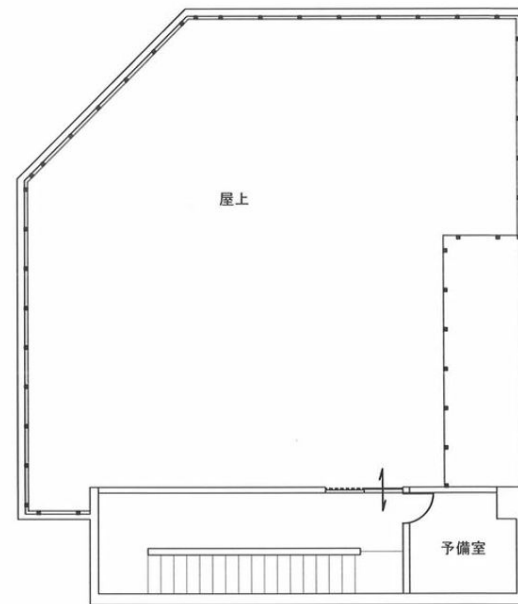
2F ゲストハウス

洋室A/B/C 和室



3F 屋上

レンタルスペース



Seminar in FUJIONE vol.1

7/30(土)

18:00~20:00

社会人：3000円
学生：参加無料
お申込QRコード→



学生
大歓迎



プレゼンテーション
クリエイター

①
セミナー

前田 謙利

ビジネスが
一歩進むための
プレゼン資料の作りかた



まえだ×まえだ
特別対談

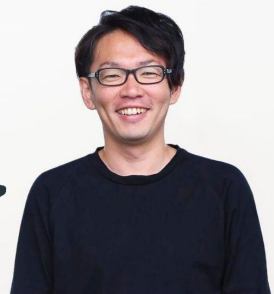
②
対談

『伝え方とDX』

磐梯町CDO補佐官 (デザイナー)
株式会社 idea craft 代表取締役

前田 聡一郎

謙利さんに、現場で伝えるプレゼンを
デザイナー目線で聞いていただきます！



Seminar in FUJIONE vol.2

10/22(土)

18:00~20:00

社会人：3000円
学生：参加無料
お申込QRコード



学生
大歓迎



元CHANEL、LEVI'S
リサーチディレクター

光成章

ビジネスを更に一歩進める
リサーチマインドとは

特別対談

『リサーチとDX』

合同会社 FUJIONE 代表
ふくいテレワーク女子 代表

後藤 美佳

「モノ」社会から「コト」社会になった今
どういった発想の転換を行い、どんな視点で
リサーチをおこなっていくのか



お問合せ：mikapinky0524@gmail.com 080-4250-9207 後藤



デジタル みらい会議 in FUKUI

12.17 (土)
13:30~16:00

FTJ交流会同時開催!

株式会社MAIA 代表
月田 有香

デジタルで作る女性の未来

ふくいテレワーク女子 代表
後藤 美佳

デジタルで作る個々の未来

NPO法人 エル・コミュニケーション代表
竹部 美樹

デジタルで作る福江の未来







さまざまな連携、協力を経て、今も活動中

振り返ると、私の活動の背景にあったのは

モチベーションとスキルを持った 民間プレイヤーと

**知見を持つ方々、専門家と
熱意ある行政の職員の姿でした**

公共とプロフェッショナルの知見

+

民間と持続するモチベーション

↓

持続するコミュニティ

**引き続き、
多様な知識を得て経験をしながら
ひと、組織の役割を認識し活かすことができる
力を伸ばす**

敦賀の港(昭和初期)



敦賀の港(現在)



敦賀の歴史

1882年 敦賀一長浜間 鉄道開通

1889年 外国貿易港指定

1912年 シベリア鉄道との接続

1920年 日本赤十字社がポーランド孤児受け入れ

1940年 ロシア革命時のユダヤ難民受け入れ「人道の港」

**交通の要衝であり
人の優しさがある敦賀、
そして敦賀がある福井**

資源は今ここにいるひとのあたたかさ

そして彼らが活躍できる「余白」

観光に資するまちづくりとは

**決して大人が自己犠牲を払ったり
我欲を満たすものではない**

**手当たり次第に
知識やセミナーを詰め込むことでもない**

みなさん、「やりたいことだらけ」

ひと、地域の魅力を活かすため

経験者、専門家がプレイヤーの

可能性を信じ

傾聴し

対話を進め

役割を見極め

選択肢を与える

住む人がありのままに活躍できるふくいになる

ご清聴ありがとうございました。